

令和7年6月26日

教育長答弁実録

（教育委員会）

6（2）

（問）地域に愛着を持つ、未来を担う若い世代の育成について

教育委員会として、教育において児童・生徒の愛郷心を育むことの重要性をどのように認識しているのか、教育長に伺う。

また、今後、地域住民や企業、市町などと連携しながら、ふるさと教育やキャリア教育をどのように進めていくのか、教育長に伺う。

（答）

学校教育におきましては、郷土の現状と歴史について、正しい理解に導き、伝統と文化を尊重し、郷土を愛する態度を養うことが求められており、児童生徒が地域に住む人々との関わりを通じて、地域への理解と愛着を深め、地域社会をよりよいものに発展させていこうとする態度を育成することは重要であると認識をしております。

このため、学校の教育活動全体を通じて行っている道德教育を中心に郷土について学んでいるところであり、例えば、小・中学校におきましては、地域の伝統行事に参加し、伝統を継承している人々の思いに触れたり、地域の伝統的工芸品の担い手から伝統技術を継承しながらも新しい技術の開発を進める様子を見聞きしたりすることにより、地域の発展のために、自分たちが貢献できることを考えるなどの学習活動を行っております。

また、キャリア教育につきましては、児童生徒が、地域の中で学ぶことを通じて、地域社会を考え、自分の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に必要な基盤となる資質・能力を身に付けることが重要であり、県内の地元企業と連携した体験活動の充実を図るなど、地域と協働した取組を展開しているところでございます。

高等学校におきましては、総合的な探究の時間での、フィールドワークを通して、地元企業等とともに

- ・ 解決すべき地域課題を設定して商品開発を行ったり、
- ・ 地域の活性化に向けた具体的な提案を行ったりするなど、

地域への貢献について考えを深めております。

また、専門高校におきまして産業教育コーディネーターを配置して学校と

産業界との協力関係の構築に向けた取組を進めているほか、今年度からは、商工労働局と連携して、職場体験活動や探究活動などに協力可能な企業を検索できるデータベースを作成しており、学校と地元企業との橋渡しを行う取組を進め、児童生徒が企業の魅力に直接触れる機会の確保・充実に努めております。

県教育委員会といたしましては、地域住民や企業、市町などと連携しながら、児童生徒が自らの生き方を考えるキャリア教育を進めるとともに、地域の魅力や産業の特色についての理解を深め、郷土愛を育む教育の充実に図り、本県の未来を支える人材の育成に努めてまいります。